

学校評価結果と令和5年度に向けて【柏第五小学校】

1 思考力、コミュニケーション力、表現力の育成に向けて

「思考力、コミュニケーション力、表現力の育成」は、今年度の本校の学校経営方針の柱です。しかしながら、児童アンケート「思ったことや考えたことを先生や友達にわかりやすく伝えることができるか。」の項目で「はい」と回答した児童は35%、保護者アンケート「お子さんは、自分の思いや考えを、先生や友達にわかりやすく伝えることができる。」の項目でも、肯定的回答（そう思う、ほぼそう思う）が55%と低い結果となりました。

育成に向け、校内研修において算数科を中心に指導方法の研究を行ってきました。算数科については、既習事項を基に自力解決を行ったり、自分の考えを伝えたりする場面が増え、一定の効果が見られた一方、全体として「思考力、コミュニケーション力、表現力が育成できるよう意図的に場を設定し、指導することができた。」の項目に関する職員自己評価はやや低めでした。

学校評議員からは、「新型コロナウイルス感染症によって様々な制限があったため、これからは児童の意見交換が活発にできる授業や思ったことや考えたことを発表する場を意図的に設けて、育成を図ってほしい。」とのご意見をいただきました。また、「授業だけでなく、学校行事や児童会活動等においても、教師主導ではなく、児童が作り上げる機会を設けてほしい。」とのご意見もいただきました。

思考力の育成には、学習の基礎・基本の定着が大切であり、家庭学習が要となります。家庭学習に関する保護者アンケートも肯定的回答が52%と低いので、家庭学習の進め方について検討したいと思います。また、体験活動や問題解決学習を多く取り入れたり、児童の主体的な活動場面を設定できるようにしたりし、思考力、コミュニケーション力、表現力の育成に努めていきます。

2 教育相談の充実と情報モラル教育

職員自己評価「適宜教育相談を行って児童の悩みや問題行動に対応できた」「児童の困りごとへの対応について、家庭と密に連絡をとった」等に関する項目では、やや高めでしたが、保護者アンケート「いじめ防止等の取り組みや指導」と「相談しやすい環境」の肯定的回答が59%、64%と低い結果となりました。いじめ防止に向けた研修及び児童への指導を計画的に行うとともに、児童との教育相談週間をさらに充実させたいと思います。また、情報モラル教育については、授業参観で取り入れる等、ご家庭と連携を図っていききたいと思います。

3 食育の一層の推進

食育は、一生にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎をつくるために行われるものです。その一つが学校給食であり、保護者アンケートの学校給食に関する肯定的回答は、92%と群を抜いて高い結果となりました。職員自己評価においても、食育については、昨年度よりも上昇しました。今年度は、栄養教諭が中心となって、様々な教科等で食育を推進してきました。次年度も、教職員や児童と共に、食育の一層の推進を行っていきます。